

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	東アジア酸性雨モニタリングネットワーク 拠出金		<b>担当部局庁</b>	水・大気環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成14年度～		<b>担当課室</b>	大気環境課		大気環境課長 難波吉雄		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	3. 大気・水・土壌環境等の保全 3-1 大気環境の保全(酸性雨・黄砂対策を含む)				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	—		<b>関係する計画、通知等</b>	「東アジア酸性雨モニタリングネットワークの強化のための文書(平成22年11月23日署名)」 「東アジア酸性雨モニタリングネットワークの実施に関する共同声明(平成12年10月26日)」				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	東アジア地域の酸性雨の状況に関して共通の理解を形成することなどを目的に、平成13年1月から本格稼働を開始している「東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)」の活動を推進することにより、東アジア地域における酸性雨問題の現状と将来について、参加各国間の共通の認識を醸成し、国際協調による東アジア地域全体の酸性雨対策の枠組みづくりを目指す。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	EANETの運営経費のうち、我が国の拠出分を拠出するもの。 ＜EANETの概要＞ 東アジア地域における酸性雨問題に関する地域協力体制の確立を目的として、2001年1月から本格稼働。参加国は13カ国。共通の手法を用いた酸性雨モニタリングを実施。また、データの収集・評価・保管、精度保証・精度管理活動等も実施している。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	96	85	96	96	79	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
	計	96	85	96	96	79		
	執行額	96	85	96				
執行率(%)	100	100	100					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)	
	本拠出金はEANETの施策推進のためのものではなく、EANET存続の基盤を確保するため参加国の合意に基づき拠出を行うものであるため、定量的な成果目標を示すことはできない。		成果実績	—	—	—	—	
			達成度	%	—	—	—	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	本拠出金はEANETの施策推進のためのものではなく、EANET存続の基盤を確保するため参加国の合意に基づき拠出を行うものであるため、定量的な活動指標を示すことはできない。		活動実績	—	—	—	—	
			(当初見込み)	—	(—)	(—)	(—)	
<b>単位当たりコスト</b>	— (円/ )		算出根拠	本拠出金はEANETの施策推進のためのものではなく、EANET存続の基盤を確保するため参加国の合意に基づき拠出を行うものであるため、定量的な単位当たりコストを示すことはできない。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	経済開発協力機構等拠出金	96	79	国連分担金比率による減				
	計	96	79					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国民の関心が高い越境大気汚染問題に対応するEANETについては、参加国の合意に基づき、国連分担率に応じた拠出を各国が行うべきこととされており、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	EANETの運営経費は、モニタリングデータの収集・評価、精度管理・精度保証活動の実施、各種会合の開催等、真に必要な事業にのみ支出されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業性の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	具体的な活動実績は、毎年開催されている政府間会合に報告されており、計画されている活動内容のほとんどが達成されている。また、EANETで得られたデータは高い品質が保証されており、各種学術論文でも引用されるなど、十分活用されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>これまでの拠出により、EANET推進のための基盤(体制面、財政面)の強化に貢献している。EANETは東アジアにおける酸性雨問題に関する唯一の関係国政府間ネットワークであり、引き続き拠出を行う必要がある。</p> <p>EANETの運営経費は、モニタリングデータの収集・評価、精度管理・精度保証活動の実施、各種会合の開催等に使用されており、具体的な支出内容については、毎年開催されている政府間会合に報告され、十分に使途を把握できる状況にある。</p> <p>規定の国連分担率(日本:12.530%)を踏まえ、我が国の拠出を行うとともに、政府間会合等を通じて引き続き活動内容の進捗状況を随時把握し、活動への投入規模の見直し提案を行う等、効率的な運営が行われるよう求めていく。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	拠出先の活動を把握して評価を行い、改善等の申入れを行うなど、より効果的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	拠出先の活動を把握・評価し、必要に応じて改善等の申入れを行うなど、効果的な執行に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	022	平成23年	059	平成24年	058

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省  
96百万円

拠出金  
【内容】  
EANETの運営経費のうち、我が国の拠出分を拠出。



A. 東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)  
96百万円

【活動概要】  
・共通の手法を用いた酸性雨モニタリングの実施  
・データの収集、評価、保管及び提供  
・精度保証・精度管理(QA/QC)活動の推進  
・参加国への技術支援と研修プログラムの実施  
・調査研究、普及啓発活動の推進  
・関係国際機関との情報交換

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	東アジア酸性雨モニタリングネットワーク拠出金	96			
計		96	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東アジア酸性雨モニタリング ネットワーク(EANET)	EANET事務局運営経費、及びネットワークセンター運営経費	96	-	-